

学生生活の心構え



商学部長

いしかわ
てつお
石川 鉄郎

商学部の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から中央大学商学部の学生となるわけですが、これからのような学生生活を送りたいと考えていますか。商学部で学んでみたいと思うこと、あるいはやってみたいと思うことはありますか。何のために商学部に入学したのですか。商学部での学生生活をスタートさせるにあたって、まずは将来の進路などを意識しながら、学生生活の目標についてじっくりと考えてほしいと思います。

学生生活を送るにあたって、自分の将来に思いをめぐらせながら、学生生活の目標を意識することが大切なのは、大学は「社会人・職業人となるための準備の場」という側面を持つているからです。皆さんは、学生生活を通じて、社会人・職業人となるための準備を行うのであり、自分自身の将来どのような社会人・職業人になりたいのか、そのためにはどの

ような学生生活を送るべきなのか、ということに常に意識することが何よりも大切なのです。

しかし、目標を定め、一生懸命努力しても、思いどおりに望みが叶えられないとは限りません。いやむしろ、物事は思いどおりに運ばないことの方が多くあるかもしれません。人生には失敗や挫折は付き物であり、そのような困難を乗り越えることにより、人間は成長していくのです。同じことは学生生活にもあてはまります。失敗や挫折を恐れず、学生生活を通じてさまざまなことを経験してみてください。大学は「人間としての成長の場」という側面も持っているのです。

最後に、大学は「純粋な学びの場」でもあるということをお勧めしておきたいと思えます。ある目的のための手段としてだけでなく、学ぶことそれ自体の楽しさや面白さを味わうことも、学生生活では大切なことです。知的好奇心を旺盛にして、学問に接してみてください。

皆さんの学生生活が充実したものとなることを期待しています。

学び方を学べ



理工学部長

いしい
よういち
石井 洋一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。理工学部の新しい仲間として、皆さんを心から歓迎いたします。

これから大学生生活が始めるにあたって、皆さんは知的な冒険への期待に胸を躍らせていることでしょう。その一方で、どのようにして学問に取り組みればよいのか、戸惑いを感じている人も多いと思います。大学とは本来何を学ぶところなのでしょうか。

大学での学問というのは、高校までの勉強とはずいぶん違うものです。勉強をするもしないも、学生一人ひとりに任されています。手取り足取りで面倒を見てくれるわけではありませぬ。自由度は高いですが、自己責任を問われます。そのような環境で4年間学んで身につけるべきものは卒業して社会に出たときに求められるものに違いありません。理工学部を卒業して、将来科学技

術に関わる仕事をしていくには、社会の変化や科学技術の進歩につれて変化していくさまざまな課題を、自ら理解し解決する力が必要となります。そのためには、将来にわたって理工学を継続して学んでいける人間になること、つまり「理工学の学び方を学ぶ」ということが根本になります。細かな公式や定数などは、教科書やデータ集を見れば書いてあるもので、それらは表面的なことですが、重要なことは、理工学という学問の考え方や、取り組み方自体を身につけるといったことです。4年間にわたる科目の積み重ねと、卒業研究などでの課題研究によってそれは完成するのです。

大学時代は人生で最も多くの経験ができる時期でもあります。さまざまな経験は人間としての幅や広い視野を与えてくれます。4年間の学問と経験とが皆さんの将来の土台となります。みずみずしい感性で、大いに知的好奇心を養ってください。そして、将来も自ら学んでいけるだけのたくましい知力を育ててください。